

一般質問発言通告書

発言順位 8 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和3年6月8日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 3 番 村田 耕一 ㊞

質問事項 1	地域脱炭素化にむけて
具体的内容	2050年温室効果ガス排出量を実質ゼロにする目標を明記した改正地球温暖化対策推進法が5月26日に成立。政府は2030年度に2013年度比46%削減する目標も4月に決定しています。地球温暖化による気候変動は世界の危機であり環境省は2030年までに地域での脱炭素ドミノを生みださなければならないとしています。そこで三島市の取り組みを伺います。
1	次期環境基本計画での2050年削減目標とそれに向けた2030年までの目標はどこに置くか
2	現在の公共施設における再エネ導入率は何%か。改正地球温暖化対策推進法では、温室効果ガス排出量のための施策の目標設定が努力義務となったが再エネ導入を含め公共施設の地球温暖化対策をどう進めるのか
3	市内での再生可能エネルギー事業を立ち上げをどう考えるか。
4	地域で省エネ、再エネのさらなる普及促進するための施策は。
5	食品ロス削減にむけて無料サイトを開設してマッチングの取組ができないか。
6	三島市は2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロの表明を行うのか見解を伺う。
質問事項 2	高齢者福祉施設整備
具体的内容	高齢者や要介護要支援認定者また認知症高齢者などの増加に向けて、市では令和3年度に地域密着型サービスとして小規模多機能型居宅介護施設、認知症対応型共同生活介護施設、地域密着型特定施設入居者生活介護施設の整備を予定していますが以下伺います。
1	公募の時期と応募業者の条件について伺う。
2	整備するエリアはどのエリアがよいと考えているか。
3	県営光ヶ丘住宅の跡地の定借での使用を県と調整できないか。
質問事項 3	子育て支援と学習環境整備
具体的内容	厚生労働省の人口動態統計では、2020年生まれの赤ちゃんの数は1899年の統計開始以来最小の840,832人でした。子育ての負担軽減と女性が働き続けられる環境整備を一つ一つやっていかなければならない。また学習環境の整備についても要望を行う。
1	多子世帯応援金として第2子以降のお子さまが誕生した世帯に応援金の支給ができないか
2	住民税課税世帯の1歳と2歳児の保育料の軽減ができないか
3	学習環境をよくするため小中学校体育館にエアコン設置を要望するが見解を伺う